



# あかまつ

令和4年度

第19号

令和4年6月21日

《学校教育目標》 夢に向かって 本気で チャレンジ! 笑顔の花さく 南っ子

## 6年FW「埋蔵文化財センター・払田の柵へ」

17日(金)、6年生が埋蔵文化財センターと払田の柵で学習してきました。石器や土器の見学や払田の柵跡の見学を通して、昔の人々の暮らしを実感するとともに、歴史への興味・関心を高めることがねらいです。

払田の柵は1902年頃の耕地整理により水田の中から200本余りの柵木が発見されたことから、国の史跡に指定されています。その後の調査でその柵木は801年に伐採された材であることがわかり、桓武天皇の時代の坂上田村麻呂らによる征夷事業によるものであることが判明しています。しかし、文献資料には払田の柵という名がないため、幻の柵と呼ばれているとか。平安時代やそれ以前、この地でどのような政治が行われ、どのような暮らしが営まれていたか、古代へのロマンが広がります。



透光器土器



また、仙北平野でも石器や土器が見つかることから、払田の柵があった時代(平安時代)よりも以前の旧石器時代、縄文時代にもこのあたりに住んでいた人々がいたこととなります。駒場からも出土されているようでした。やはり水が出るところに人々は暮らすのですね。

左の写真は雨に少し降られながらの撮影でしたが、それもまた思い出。6年生にとっては、大和朝廷の力がまだ及んでいなかった古代から払田の柵が作られた後の時代まで考えることのできる学習となりました。

## 特別支援教育に関する研究会がありました

20日(月)、私たち教員が特別支援教育について学ぶ研修の機会がありました。ユニバーサルデザインの考え方を教育分野に取り入れ、すべての子どもにとって安心して学ぶことのできる教育環境及び確かな学びを保障する授業を推進する動きが活発になってきています。子どもたち誰もがもっている「分



かりたい」「できるようにになりたい」という欲求に応えられるよう、私たちも研修を積んでがんばります。

## 今週末は5年生が保呂羽山へ 再来週は6年生が修学旅行へ

5年生の3校合同保呂羽山宿泊体験活動が6月23・24日に、そして再来週の7月7・8日には6年生の合同修学旅行(男鹿・秋田方面)があります。合同の打ち合わせ会を担当で行ったり、しおりを作成したりといよいよ出発が近づいてきたという感じがしています。子どもたちもとても楽しみにしているようです。ただ、当該校で感染拡大が危惧される時は、急な中止もあり得るので気を引き締めて行動することを忘れてはなりません。

5・6年生全員の心に残る活動となりますよう、感染予防対策と体調管理を全校体制でどうかよろしくお願いたします。

